

## 科研報告シンポジウムのご案内

### 「産婆・助産婦の近代を掘り起こすー京都府・大阪府助産師会保存資料を中心に」

このたびシンポジウム「産婆・助産婦の近代を掘り起こす」(JPK17K04151)科研報告会をオンラインで開催することになりましたので、ご案内致します。

本シンポジウムは2020年2月に大阪府立大学 I-site なんばにて第一回を開催し、当初は第2回を3月15日に東京で大妻女子大学千代田校にて開催する予定でしたが、コロナ感染の拡大時期と重なったため、9月5日に延期し、対面型ではなく Zoom ミーティングで実施することに致しました。会場での資料や写真の展示をしない代わりに、web 上で閲覧頂けるように致します。

シンポジウムへの参加を希望される方は、以下のフォームからお申し込みをお願い致します。お申し込みを頂きました方には、改めて web 参加のご案内をメールでお送り致します。

■参加無料（定員 100 名）

■お申し込み：以下のフォームからお願いいたします

<https://forms.gle/Afvy46y3yMxVnyDN9>

■締め切り：8月25日（火）正午まで

※お申し込みいただいた方には、開催前日9月4日（金）の昼以降に、Zoom の URL をお送りします。

（Fax でお申し込みされる方は、メールアドレスを正確にご記入願います）

Fax 番号 042-372-9209（大妻女子大学人間関係学部社会学専攻・大出宛て）

基本的に参加者は研究者、学生、助産師、そのほか医療関係者に限定致します。ご了承ください。

#### ■シンポジウムの趣旨および当日プログラム

産婆・助産婦の歴史資料に関し、2017年度から3年間にわたる科研費補助金研究（JP17K04151「日本の出産文化の歴史社会学的研究ーリプロダクティブ・ヘルスと助産所の機能を中心に」・研究代表者 大出春江）により、日本助産師会の協力を得て情報提供を呼びかけました。その結果、戦前および占領期を中心に、産婆会および産婆の活動記録に関する第一次資料を大阪府、京都府、宮城県、鳥取県、愛媛県から提供頂くことができました。大阪府助産師会からは『大阪市産婆会報』『大阪府産婆会報』と『大日本産婆会総会及大会誌』（第2回、3回、5回、8回、10回、13回）、京都府助産師会から第9回大日本産婆会京都大会（1936年開催）関連の会計や各地との往復文書を含む資料、地区単位の産婆名簿、「貧産婦助産取扱記録」、宮城県助産師会および鳥取県助産師会からは占領期日本の産婆・助産婦会資料や助産婦再教育講義ノートをお借りすることができ、これらを電子データ化しました。そのほか緒方洪庵記念財団の保管資料と国立国会図書館所蔵の電子資料を加え、1927（昭和2）年から1943（昭和18）年まで大日本産婆会総会・大会のうち、発行の確認されている大会誌を第2回から第16回まで（第15回を除く）を『大日本産婆会総会並大会誌』（三分冊）としてまとめました。

本シンポジウムはこれらの史料をもとにそれぞれがテーマを準備し報告するものです。当日のプログラムは以下の通りです。

プログラム 13:00～16:30

13:00 開会の挨拶 大出春江（大妻女子大学）

13:10 「大日本産婆会大会の議案が語りかけること」 松岡悦子（奈良女子大学）

13:40 「大日本産婆会産師法と助産師法のめざしたもの」 大出春江（大妻女子大学）

14:10 「第9回大日本産婆会（京都府）の開催状況に関する報告」

岡本喜代子（東京都助産師会館）ほか

14:40 「戦前京都市における『貧産婦助産取扱記録』から」 田間泰子（大阪府立大学）

15:10 「占領期の産婆/助産婦再教育とその役割」 伊賀みどり（帝京平成大学 非常勤講師）

15:40～16:00

休憩（質問をチャットにて受け付けます。チャット入力には15:50までと致します。）

16:00～16:30

質疑応答

16:30 閉会の挨拶 岡本喜代子（東京都助産師会館）

主催 「産婆・助産婦歴史研究会」（研究代表者 大出春江）

松岡悦子（奈良女子大学）・田間泰子（大阪府立大学）・岡本喜代子（東京都助産師会館）・

伊賀みどり（帝京平成大学 非常勤講師）